



報要間週

政府及二使間の難境

▲總統府會議と成
●れる●徑路●及●觀察●
すべし

すべし

曹張王三巡閱使の北上となりて以來已に四十日を經過せるが、彼等を入京せしめて天津に集まり、新總理を迎へて所謂四頭目となり、以て天津會議を開催するに至りたり、然れども此會議は世人の耳目を聳動せしものにして、泰山鳴動して鼠一匹の感なきを得ず謂はる相互間の敷衍時代に過ぎざりき、三巡閱使既に入京せる以上、相互間の敷衍は長ふすべからず、出京せざるべからず、既に出入京せざるべからざる以上、出入京に臨みて三巡閱使は各本音を吐かざるべからず、然るに各派政客は三巡

曹張王入京後の問題は要するに張勳起用問題と軍費問題なるが如し、四十日に垂んとして而かも三頭目が滯京して歸せざる所以は此に職由せざるものと見ざるべからざるに似たり、殊に此兩問題の爲め曹張二人間の不和を生じたりとの報道は直に政客新聞記者の好材料となりたり、即ち其報道に曰く本月十九日、三巡閱使會議席上に於て曹張二巡閱使は張勳起用及軍費の兩問題によりて相互に歸して下らず、張作霖は憤然怒りて歸するの準備を爲し、司事の上立を命ずるに至り、幸に余

みて本音を吐く所以にして、曹錕の同時に恐れざるべからざる所なり軍費問題に至りては張作霖獨り甘きを吸ひ征蒙費として三百萬元を受領したるは、曹王兩人の最も不満足とする所なり、折角軍費を得る爲め三巡閱使合致して斬内閣を擁護したる甲斐なき妻となり、是れ三人者の默契の破れたることを意味し、三人者の間は自ら裂れざるを得ざる所なり、此に於て事あるかしを欲する新聞記者は地盤問題を以て、直奉は今にも破裂するものゝ如く、種々の報道を與へたり

歎じて曰く諸君は皆地盤ありしも余は僅かに一交通部の参事見習を得たるのみと、此に於て三巡閱使は振動の起用軍事兩問題以外、各地盤問題の爲め不和を生ずるに至れりと解せられたり、二十三日迄の形勢は此くの如かりしが二十四日に至りて總統會議が開かれたり、日本に於て云はば一種の御前會議に値ひし、同會議は重要視せられたり、参列しものは徐世昌、靳雲鵬は勿論、三巡閱使、團員全體、蒙藏院總裁參謀總長王銓、成總司令、馬張都統等北京の重要人物を調羅したり、當日の會議の結果

たり 尙ほ第二項中の蒙古平定は對蒙策會議となり、張専ら之に當り、統一問題に對しては、援助専らに對し、疏通し、北部(蒙古)に對しては張が主となりし爲め南部(統一)に對しては王占元主となり、兩者の間を聯絡貫通するものを曹錕とし、全責任は靳內閣之を負ふこととなり、三頭目の意見は頗る一致せりと報せられしが、更に別報によれば自ら勢力範圍を定めたりと報せる主旨は右と同じけれども之を紹介せば左の如し

三巡閱使は會議の結果圓滿に解決

度に出づるかを待ち設け居たり、即ち問を伺ひ隙に投ずる事の研究を怠らず、何となれば天津會議は僅かに數荷時代なりしと同時に其解決して、事柄は凡て解決し易き問題にして、内閣問題の如きは稍難しと見し迄にして、難問題は之より發生すべしと觀察したればなり、此に於て其後北京より傳へらる、報道は皆直奉兩派と王占元間の破裂を招くに至るべしとの意味のもの多く、其甚だしく聚合なれば、其離散が利害によりて

(四)
本日二十三日に至り、三巡閱使は棉花胡同に於て會議を開きたるは事實なるも、其真相は知るべからず、之に就き益世報は報じて曰く二十三日の合議席上年長者の巡閱使は一言も發せず、本人の意見は早や已に徐新兩氏の面前に於て表示せりと云ふのみ、故に同會議は結果なかりきと元來政府は陸洪壽を以て甘肅督軍とせんごせしも、某方面は張翼之の多

二、張勳を東三省巡閱副使
三、陸洪濤を眞の甘肅督軍とす
四、選舉催促通電を發す
五、二個月を限りて蒙古亂を平定す
六、陸榮廷陳炯明をして速かに粵亂を平定せしむべく電令す
七、各省聯合の實行

之を換言せばは瓜豆是なり、三巡問使
入京の結果は此の如し唯だ財政問題
は實に即決し易からず、又軍費財政
の三特別區は事あれば先づ張作霖
の勢力範圍を劃定し東三省内外蒙古
の直隸、山東、河南、陝西、甘肅、新
疆は事あれば先づ曹錕に詢へ、長江
及湖南、四川、雲貴に事あれば先づ王
占元に詢へることとなり之を美言
せば曹錕は中原を維持し張は蒙古に
對し王は南方に對することとなり
之を換言せばは瓜豆是なり、三巡問使

を加ふるに至れり。此傾向は本月十九日頃より漸次に昂上し、二十三日二十四日の總統府會議開催となりて一層劇くなり、是れ天津會議より、總統府會議に至る徑路の梗概なり、今三巡閱使の出兵に臨みて現はれたる直奉兩派の齟齬説の種々の報道と、所謂國滿に解決せられたと傳ふる報道とを紹介し、以て今後の發展に資する一大脅威たることは其由來久し、其金きは云ふの要なし、最近は直派に對する北京各界聯合會は張の別動隊として行はく、は支那從來の政治史に視て今更ら怪しむに足らざることを心に置きは可なり、而して曹張兩人が相対反騰すべき問題、反騰すべく問題として如何に目を注げば可なり、反騰すべく問題とは即ち張動起用は直派に對する一大脅威たることは其由來久し、

を姜桓楚に與へ張を甘肅督軍に與へ、汲金純を熱河都統に與へんとせり。蓋し某方面は已に吳俊陞を黑龍江毅軍でせる以上、汲金純に對しても、俄に地盤を與へざるべからざる事情あり、然るに馬福祥は總統府に入りし際、徐世昌は張振芝を甘肅に置くも可なるや否やを問ひたりしに、馬は要領を得ざる、返答を爲

七、京内外一致して政費節減
八、全國裁兵の手續を定む
八項目通りに實行するれば實に風
平かに波靜かなり、然れども其内幕
を考ふれば總統府會議となりしてこ
には、地盤問題上三巡閱使相持して下
に、大體の爲め起りし御前會議と稱す
べく、張勳起用問題が政府及三頭目
間の難境なり、如何なる御前會議も

に就ては、二十五日夜新宅に於て李士偉張志澤潘復集り作金方法を會商したるが曹は少くとも五十萬を携帶せんとし王は少くとも六十萬を要せし更に征蒙準備費一百萬は要し張は事實上二借款成立するに非れは不可なり、直隸銀公司已に百萬を政府より借り利息甚だ低し其餘の借款條件は甚だ苛酷なり、吉會線の續訂

日清汽船株式會社

上海出帆		郵船棧橋ヨリ發		南陽丸		襄陽丸		瑞陽丸		大福丸		大利丸			
電話		輸出客		浦東棧橋ヨリ發		電話		輸入客		浦東棧橋ヨリ發		電話		浦東棧橋ヨリ發	
船客		三二五九		四七六		船客		三二五九		四七六		船客		三二五九	
監督		一八七四		四七四		監督		一八七四		四七四		監督		一八七四	
上海廣東路四號及大號		浦東棧橋		漢口宜昌線		漢口湘潭線		漢口常德線		漢口南昌線		九江南昌線		一週三回	
一週一回		一週二回		一週三回		一週四回		一週五回		一週六回		一週七回		一週八回	

三菱公司
三菱礦物分析所

鑛分鑛 熔電製石
山析物 子銅紙炭
話 電

六五三三④四六九二④二九一

契約は新聞に記載せるも事實は尙は未だ調印せずと報せり

(四)

要するに政府及三巡閱使間の會合は種々敷衍し、又此敷衍を藉口して...

陝西易督後如何

段派督軍として又民黨排斥の的たりし督軍として、常に問題となりし陝西督軍陳樹藩は本月二十四日附...

引渡すか、事遂断すべからざるに似たり、本月二十六日の電報は陳樹藩は直ちに自治を宣布したりとひ報...

對蒙古策會議

露蒙の匪徒は尙は内外蒙古各地に在り彈藥は某國より滿洲里海拉爾經...

北京教育團體

本月二十三日本北京八校教職員代表は會議を爲し、評議の結果全體辭職...

南下するに決せりと報せらる、此事に關し例の學界を煽動するを唯一能事とする研究系は國民は直接に八校を維持せざるべからずと知し、本月二十五日の時事新報は(一)各省商會又は銀行公會より短期教育債券を發行し以て八校を救ふべし、此種の債券は商會又は銀行より將來政府に支拂ふべき金の中より自由に之を扣除し八校責を負ふ人より總機關を組織し此種の經費を承領すべし(二)各省議會又は教育の力を以て此種の債券を發行するか又は省金で工面し以て八校を濟ふべし(三)省議會は人民にして此種の債券を有する者は各種國稅の代用品として納めしむべしと稱し、大に八校の爲め氣焔を擧げた要左の如く論せり以て教育風潮の内幕を窺ふに足る、曰く...

日本郵船株式會社

Table with shipping schedules for Nippon Yusen Kaisha, listing destinations like Europe, America, and Japan with specific dates and ship names.

The Bank of Chosen.

Advertisement for The Bank of Chosen, including a logo, branch locations, and financial services in Korean and English.

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サトシル



株式會社
江商

支店 大阪

資本金 五千萬圓
拂込濟參千萬圓

號五十五路川北海上

支店 大阪

支店 東京 九之内 深川 日本橋
大阪 中ノ島船場 神戸
京都 名古屋 倫敦 紐育



株式會社
三菱銀行

上海廣東路九號

支店 東京 橫濱、神戶
天津、青島、漢口
大連、香港、孟買
甲谷院、紐育、オースチン、フオート
ワグニヤ、サト



官僚界の迷信

▲「慈善」の發生▼

三教同源説に就ては已に昔つて三教同源説と題し評論するものありが北京通信によれば又慈善社なるもの現れたり、此種の社が現はるべからず、今左に右通信と本日廿五日此事に關し論評せし中華新報の社説を紹介すべし

北京には先きに一種の同善社ありしが、此社を除く外尙一個の慈善社發見せられたり、供奉の呂潤實は墳を順治門内松樹胡同に設けあり、社中には大官僚甚だ多く錢某江某龍陸某新に大官僚の張某等の人其地重要人物は何れも五體を地に投じて信服し弟子となり弟子の禮を執行し、毎月數回壇を開く、扶乩降時、預卜休咎、某長と呂祖とは詩友たり、弟子と稱せず、亦常に社内に在り、兄弟河沿地方に於て一個の慈善銀行を開き其他にも四五小工場を起し、昨年冬亦玉米棉花のスポン等を施與したり、同善社の如く盛なり最も美ふべきは二十一日は呂祖聖誕の日に當り祝賀したり、中に一弟子某あり壽禮三百兩を送りたるが、當時壇上より賞を下りて收め、同時に社中の管會して靜坐講習を事せりと云ふ、今日計賑恤及奔走者三人を壇上に呼ばしめ、汝等三人は平素事務甚だ勤む、中百四十兩は汝に與ふ、餘り百六十兩は管會計賑恤の二人に分つ、更らること神明の如く云ふ、此外道德學に壽禮金を送るものあらば壇上に持參するを要せずと錢江兩弟子より分收して可なりとの御告ありたり、而して楊小樓、梅蘭芳、王鳳卿等名を招き芝居を演ぜしむべし陸の一なれとの目的は同じからず、殊に家に大庭を張りしが、弟子の席順官僚等の迷信の如きは其動機最も鄙

近日常教は復興の勢あり、此れ世道人心に於て益なきにあらず、蓋し佛教は聖なる求福の具にあらずして、彼輩迷信者等心事同日に語るべからざればなり數年來同善社の發起あり、最初には四川に起り、繼ぎに直隸に盛んとなり、終に各省に蔓延したるに、其内容は詳しは知るべからざる、其初は亦只道教の一派に靜坐講習を事せりと云ふ、今日計賑恤及奔走者三人を壇上に呼ばしめ、汝等三人は平素事務甚だ勤む、中百四十兩は汝に與ふ、餘り百六十兩は管會計賑恤の二人に分つ、更らること神明の如く云ふ、此外道德學に壽禮金を送るものあらば壇上に持參するを要せずと錢江兩弟子より分收して可なりとの御告ありたり、而して楊小樓、梅蘭芳、王鳳卿等名を招き芝居を演ぜしむべし陸の一なれとの目的は同じからず、殊に家に大庭を張りしが、弟子の席順官僚等の迷信の如きは其動機最も鄙

以て福を求め禍を免れ金儲けを爲さんとすものにして、雷に二十世紀文化の容れざる所なるのみならず、亦各宗教の齒ひせざる所なり、且つや此輩智識の幼稚なる異常に驚くべし、呂祖祝賀當日の模様を記せる通信を見るに、其迷信知るべく、陸宗輿等の腐敗官僚が祝賀の周旋奔走するに至りては沙汰の限なり、平日公論清談道德法律に對して孫堂も顧みずして獨下策に傾倒し降乩の信を信じ壇に對して鼠の猫に於けるが如き心胆真に太古時代無智蠻人の遺習を恢復するに異ならず、料らずも今日の支那に尙は此等恥づべき現象あるとは真に遺憾なり

近年宗教運動の復活は人心上に於て極めて深き原因あり一例に之を排斥すべからざるも、獨り此等卑劣極まるる舉動は國民の斷然共に起つて聲討して存在せしめざることをせざるべからず、且つ吾人は敢て此輩官僚に告げん、果して禍福の説を信せば、福は修善に因る禍も亦福ふべく、要は造因如何によること知るべし、果して福を求めんと欲せば只だ民を利し國を利するの善事を作すのみ今日の迷信家の如きは、平日の行動恐らく地獄の人物たるを免れず、徒らに呂祖に媚びて何の益ある、抑も迷信の盛んに行はるは實に國民精神の墮落を欺するに足る救済の法は唯だ教育を提唱するに在るのみ、青年をして此等の惡習に感染せしめず、一方高尚なる宗教の復興を奨励し中

此等迷信を大都會に在りて根據地たしめざるに在り、然らずして今日の狀態の如くせば支那文明の名譽は行く、將に此輩の爲め汚かし盡されん慨歎に堪ゆべけんや

北京の外交團の支那の前獨逸問題

▲外交團の支那交渉▲

租界管理法に對し不満を抱き目下北京政府と交渉を爲しつゝありこの消息あり、その理由とする所は、支那は前獨逸租界を收管する際、即ち一九二〇年十二月、租界居住の外國人は以前と同樣の待遇を受け、一切の權利及び特權は毫も侵奪せずと聲明せられ、その實支那の施設を見るに、未だ前言を履行せず、租界内居住外國人の權利特權に對しても一様ならざるより、今回の交渉を開始するに至れるものにて、その北京政府と俄に商議すべき問題は

一、租界内の市政會議問題、二、租界内、外人の永久借地權問題

の二點なるが如く、一九二〇年十二月の章程に依れば、北京政府は各租界内に市政會議を組織し、議員八人を委派しその中四名を支那人とすべしと規定するが、之れに對して當時外交部は、斯くては租界内居住者が代表を選舉するの權利を失ふものにて、換言すれば租界内一切の事は支那委員の手に歸する譯なりとの理由にて拒絕せしが、外交團の意に依りて北京政府は、租界内居住民に、市政會議に對する選舉權を有せしめ、以て支那官憲と協力し事を爲さざる事を承認せしめんとするものなり、而して外人の租界内に於ける永遠借地權問題も爭執頗る激烈にして、一九二〇年の規定にては土地租借期間は五十年を以て限りとし、必要の場合には更に五十年契約を續行することを得とせしめ、公使中には前獨逸租界内の永久借地權に從ふべき、北京政府の定めたる條項に従ふべき、外交團として極力外交部に向つて友誼的談判を以て此問題解決せん方針にて交渉し居るもの、外交部の態度は頗る強硬なるものありと云ふ

中華滙業銀行

電話支配人席中一九四六番號一般營業部中一九四六

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務、強可仕候付御引立の程奉願上候

印刷製本及紙器製造

Shanghai Press, Ltd.

社會式株刷印海上

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

資本金 壹千萬圓

本店 北京

上海支店 江西路南京路北入

支店 東京、大阪、橫濱、神戶、長崎、天津、青島、漢口、九江、福州、廈門、香港、新嘉坡、孟買、倫敦、紐約、其他支那各地

爲替、預金、貸付其他一般銀行業務、強可仕候付御引立の程奉願上候

印刷製本及紙器製造

Shanghai Press, Ltd.

社會式株刷印海上

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

印刷製本及紙器製造

Shanghai Press, Ltd.

社會式株刷印海上

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

印刷製本及紙器製造

Shanghai Press, Ltd.

社會式株刷印海上

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

號三十三路而克司・赫

雜報

李士偉反對石龍

問題 上海各路商界總聯合會是李士偉的財政總長任命及石龍的英國護照...

極東競技大會

第五回極東奧林匹克大會是五月三十日...

小麥的交易禁止提議

江蘇省議會議員朱祥祚是日維權公所...

獨乙染料之輸入

支那に於ける染料は獨逸輸入品最も多...

日米水兵衝突

本月二十二日夜米兵租界吳淞路及...

支那時事日誌

五月二十日 (金) 三國使は三人にて七百萬を要求し折...

五月二十一日 (土) 張勳起用は...

五月二十二日 (日) 順正公司と農商部間に借款成立せりと...

五月二十三日 (月) 張勳起用は...

五月二十四日 (火) 張勳起用は...

五月二十五日 (水) 張勳起用は...

五月二十六日 (木) 張勳起用は...

五月二十七日 (金) 張勳起用は...

五月二十八日 (土) 張勳起用は...

五月二十九日 (日) 張勳起用は...

五月三十日 (月) 張勳起用は...

五月三十一日 (火) 張勳起用は...

六月一日 (水) 張勳起用は...

六月二日 (木) 張勳起用は...

六月三日 (金) 張勳起用は...

六月四日 (土) 張勳起用は...

六月五日 (日) 張勳起用は...

六月六日 (月) 張勳起用は...

六月七日 (火) 張勳起用は...

六月八日 (水) 張勳起用は...

六月九日 (木) 張勳起用は...

六月十日 (金) 張勳起用は...

六月十一日 (土) 張勳起用は...

六月十二日 (日) 張勳起用は...

支那共和史

第一版 九月廿五日發行 第二版 十一月一日發行...

春申社發行 上海廣東路十九號 電話二二七六番

中華皮革廠

營業科目 各種皮革 各種靴鞋 各種皮貨...

事務所工場

上海曹家渡 電話西一〇〇〇番

火災保險 明治東京火災保險會社

海上保險 東京海上火災保險會社

生命保險 明治生命保險會社

海難救助作業 東京サリジ株式會社

三井洋行 上海代理店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

山口商店 上海支店

漢が日本兵に應援したことは米國水兵が如何に此附近の支那人に不快の念を以て迎へて居るかを證するに足る此件に付き日米兩國當局は調査及び善後策講究中なるが多分一時水兵の上陸を禁止することゝなるべし尙ほ當後騒動の勃發せる前米水兵は支那街にて某外人と衝突し其頭部を負傷せしめ米兵は支那警察より工部局に引渡されたりと要するに禁酒國なる米國水兵が當地にて斯くの

授陸軍少將	陝西督軍	同僚
任陝西督軍		陳樹藩
任吉會路督辦		閻相文
陝西督軍		陸夢熊
五月二十六日令		趙榮
綏遠都統代理		趙傑
接陸軍中將		胡嗣
加陸軍少將		胡嗣

曹錕の大砲の受取

上海の江南造船所に建造せる米國運送船四隻は已に全部運送せるはば此の四隻の建造を註文せるは、鐵の爲めなりしが四隻の汽船は工を空にしたるに達力米國は非常以上の好成績を示したるより米國は非常に満品引續き八隻の建造を註文せんことを望み此の八隻中二隻は長さ四百五十五呎吹に以前、の四隻よりも二隻は以前の六隻は以前のものと異なるべく建造契約を結ぶべしと

●上海信託公司の組織

株を五十元とし四分の一拂込み

て開業する事を議決したるが其の
て株の引受済みとなり名稱を上

信託股份有限公司と定め事務所を
京路福興里に置くこととなれり

●九龍租界擴張否認
江蘇特派交涉公署は北京外交部

- ▲上海總領事の出費を以て賠償支拂義務を認
置くべしと
- ▲桶東アヘン・ビツク日本及フオヒリ選手一行
本日、滬
- ▲本日總統會議より各方面の人々來り振動するも
三署副總理等定む、廣西なるに廣東を訪はるの
裁奪手續等をなすことせりと
- ▲學生聯合會は本日江甯造船借款歡迎に關
して日本の權を踏む勿れと打電せる
- 五月十五日
- ▲本日對雲南に關する重要會議開始が蒙藏院
を中心とする在京蒙古王公新及閣員三巡閱使
列席

- ▼京奉線復線工事借款内容發表さる
- ▼本日の命令を以て陳樹藩は入京供職閣相文陸西督軍に任ぜらるゝ陸夢熊は吉會路督辦に任ぜらる
- ▼吉會借款は已に調印せられたりと
- ▼本日又新内閣發砕説出づ
- ▼學生聯合會は英首相上下兩院タイムス等に對

- ▼李士偉は三月十暇を乞へりと
- ▼王正廷は二月九日出京南下
- ▼八校學界は滬漢滬及教職員の留任運動を爲せり
- ▼南京省議会は行政會議代表撤回を打電せり
- ▼英米糧食公司借款は否認せらる

五月二十日 (木)

▼二月五日懷仁黨にて蒙古王公を問ひ征蒙の事を解釋せり

三國聯盟使は各々勢力圏を定め、曹は河南直隸

陝西山東を襲は漢及内外蒙各、王長江一帶及湖南四川貴州等を受け、地盤問題は閩蜀に解決せりと報ず、但し張勳問題は依然解決せず。

▼對南策は陸陳に對し金銭を以て援助すと云ふに、空言ならんと傳へらる。

▼施公使は米日英米佛支の共同貿易公司を組織せし計畫あり、各界の同情を得たりと電告す。

▼林虎は攻粵總指揮に任ぜらるべしと又粵桂兩軍は已に境界にて戰鬪を開始せりと報ず。

▼本日の上海時事新報は群衆運動を以て賣國賊親日政府を倒すべしと著論せり

▼全國各界聯合會學生會等と日英同盟繼續問題に反對すべく各方面に通告を發したるが、日本刀なり、英國は組なり支那は魚肉なりと云へり

▼吉會借款は未だ調印せずと

▼湖南湘江に饑民出でたり

上海黃浦路三十一號
株式會社
伊藤商行

支店及出張所
漢口、九江、廣東、香港、
臺北、京城、
大阪、東京、

電話
北二一五九〇
北三〇九〇

資本金 貳千萬圓

營業
課目
各種事業ノ調査設計
及引受各種事業ニ對
スル直接間接投資

東亞興業株式會社
上海出張所

上海九江路第五號
電話中一九九五番

本社 東京市麹町區八重洲一丁目
一番地
出張所 北京、漢口、上海

上海河南路八號
株式會社 東亞公司

電話中央
四一七三
四二六

本店 東京
支店 大阪

資本金 五千萬圓

營業科目 棉花、綿絲、品綿製生絲


日本棉花株式會社
上海支店

支店及出張所
大坂船場、名古屋、東京、横濱、
神戸、大連、營口、鐵嶺、開原、

長春、哈爾濱、上海、漢口、天津、青島、香港、孟買、甲谷陀、蘭亨、カラチ、紐育、堡部、シヤトル、ブニノスアイレス、佛國アーブル

以て誘はんとするものにて已に黨徒を以上の各地に派遣しつつありとの

に左の如き電報を發せり
北京政府海軍部會議は上海造船所

の如き電報を發せり
京政府海軍部會議は上

之を負擔する力無しとて總公
沈聯芳は免除方を請願する爲

賊政府に任かては國民の資格を失
何せん群眾運動を開始せよ國民よ資

支店	支店	海外支店及出張所
京都府小樽	漢口天津	大連香港馬尼刺
今治	青島	甲谷他
		タバヤ
		孟買
		ヤシ

●本劑は朝鮮人參のエキスを其の粉未に混和調製せり

●使用に至便
●携帯に至便

▲惠贈給付所
▲賣賣局所管

●人參の精粹

高麗參丸

(大物質)



